DPI政策プロジェクト募集要項

―政策立案できる若手障害者育成事業―

1. 趣旨

　DPIの大きな役割の一つが、国への政策提言である。各種検討会やヒアリング、議員へのロビーイング等で、DPIとしての政策を提案し、実現を目指して働きかけを行っている。これまではごく少数のメンバーで対応してきた。政策の立案・提言などは難しく、経験も必要で、携われる人は限られていた。しかし、今後の日本の障害者運動を考えると、国レベルでの働きかけは一段と増えることが予想され、DPIでの政策立案能力の強化は重要な課題である。

そこで、政策立案できる若手障害当事者の育成を目指し、政策プロジェクトを立ち上げる。基礎的な学習を行い、実際に企画立案やヒアリング資料や提言書等の作成も行う。

1. 目的
2. 政策立案力の強化
* 政策立案できる障害当事者を増やす。
* DPI全体としての政策立案力を強化する。
1. 次世代の育成
* 若手に政策立案の機会を提供する（意見書作成、委員会への随行、発言等）
* 権利条約、総合支援法、差別解消法、バリアフリーなどテーマごとのスペシャリストも養成する。
1. 内容
2. 学習
* 主な分野の基礎的な学習を行う。
* 月一回のペースでSkypeで勉強会を実施する。**別紙スケジュール案**。
* 毎回、事前に課題図書・資料を提示し、必ず事前学習を行う。
* 毎回、学習会のレポート（感想等）を提出する。
1. 研修
	1. 合宿
* 年に一回程度研修合宿を実施する。
* 集中した学習や議論を行う。さらにメンバー同士の親睦も図る。
* 初年度は、9月14日~17日までメインストリーム協会（兵庫県西宮市）で実施する。
	1. 検討会等への随行
* 実際に各種検討会に随行する。どのような資料を出すか、どのように発言をするかといったことを、実際に見学し、学ぶ。
	1. 視察
* 先進的な取り組みを視察する。インクルーシブ教育の現場、障害者雇用を積極的に取り組んでいる会社等
1. 実践
* 2年目以降は、チームに別れ企画立案、提案書等の作成を行う。
1. 期間
* 2017年9月から2019年3月まで（延長の場合もあり）。
1. 研修方法
2. 学習会はSkype
* 毎月一回、学習会＆会議を行う。前半1時間半を学習会、後半30分を会議とし、全体で1回2時間～2時間半程度を想定。
* 講義はビデオでも撮影し、蓄積する。
1. 資料や連絡はML。
2. 応募と選考
	* 1. 応募条件
* DPI加盟団体のメンバー、及び、DPI加盟団体の推薦するもの。
* 概ね40歳以下で政策立案への意欲の高いもの。
* 毎月のSkype会議に参加できること。
	+ 1. 応募方法
* メールにて下記11項目を記入の上、satoshi@dpi-japan.org　までメールで応募してください。なお、件名には「DPI政策プロジェクト応募」と明記してください。

①名前（ふりがな）、②自宅住所、③所属団体（DPI加盟団体でない場合は、加盟団体の推薦をもらってください。推薦者明記）、④連絡用メールアドレス（個人のもの）、⑤電話（連絡がとれる番号）　ＦＡＸ、⑥性別及び年齢、⑦障害種別、⑧障害者運動の活動年数、⑨政策プロジェクト応募の動機（1,000字以上　この文章で選考しますので情熱を込めて書いてください）、⑩個別支援(必要なものをお書き下さい)、⑪その他（必要に応じてお書きください）

* + 1. 募集人員
* 15名程度。選考あり。
	+ 1. 締め切り
* 2017年8月31日（木）
1. 費用
* 基本的には参加者の自己負担とする。
* 合宿等で遠方で交通費等が高い場合は要相談。
1. 問い合わせ先

DPI（障害者インターナショナル）日本会議　佐藤　聡

Email：satoshi@dpi-japan.org　電話 03-5282-3730　Fax 03‐5282-0017

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町３-１１-８　武蔵野ビル５階